

名古屋市老人クラブ通信

第57号

なごやかひろば

発行 なごやかクラブ名古屋
 (公社)名古屋市老人クラブ連合会
 〒462-0844 名古屋市北区清水四丁目17-1
 名古屋市総合社会福祉会館5階
 TEL.052-991-7734 FAX.052-991-7581
 http://www.nagoyarouren.com

制作 (株)博報社 名古屋支社
 〒462-0843 名古屋市北区田端2-13-23 2F-B
 ☎0120-0212-09

毎年1・5・9月発行 発行部数10万部



令和2年の年頭にあたり、会員の皆さまに謹んで新年のごあいさつと老人クラブの状況について申し上げます。日頃から老人クラブの諸活動、行事にご支援ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

老人クラブのメインテーマは「のばそう！健康寿命、抱おう！地域づくりを」であり、私たちの役割はますます大きくなっています。残念ながら高齢者は増えているのに老人クラブ会員が減少していることです。平成26年度から5カ年の「老人クラブ100万人会員増強運動」が終わりましたが、全国すべての都道府県・指定都市を含めて会員を増やすことができませんでした。

- なごやかクラブ名古屋においては、5カ年の間に326クラブ、2万2733人の会員が減少し、全国の都道府県・指定都市63連合会中54位と低位でした。減少の主な理由は
- (1) クラブ員の高齢化がすすみ会長職の後継者難からクラブが解散
 - (2) 60歳代の若手の加入が減少(高齢になっても働く人が増加)
 - (3) 価値観や趣味、活動の場が多様化し、個人の意識が顕著に表面化

(4) クラブ活動の実態や魅力、メリットがあまり知られていない

今後対応について検討を進めますが、老人クラブのみで対応できない事項が増えていくのが現状です。ここで老人クラブの長所を「日本老年学的評価研究機構(JAGES)」の分析で組織活動の有効性が明らかになったことを紹介します。六つの研究データの分析から老人クラブの仲間づくりが「健康長寿」にプラスの影響を与える可能性があります。大きいことがわかります。

- (1) 人との交流が多いと健康にプラス(老人クラブは人と会う機会が自然に増える)
 - (2) 運動は仲間とすると健康にプラス(老人クラブは皆でスポーツや体操を実施)
 - (3) サロンへの参加は健康にプラス(老人クラブは集いと活動の場)
 - (4) 笑いのある生活が健康にプラス(老人クラブは仲間と一緒に笑合える)
 - (5) 地域組織への参加は健康にプラス(老人クラブは地域の高齢者組織)
 - (6) 地域で役割を担って長生き(老人クラブの役員・リーダーは長生きの傾向)
- 今後とも検討および対応が必要と思われる事項は

「五十七」 なごやか 彩時

シリーズ

名東区 愛知カンツリー倶楽部



昨年は4月1日に「お花見会」を、そして10月28日には「紅葉狩り」を共に400名を超す名東区なごやかクラブ連合会の会員が愛知カンツリー倶楽部で楽しみました。

昭和56年に同カンツリー倶楽部が「何か地域の高齢者に楽しみを提供できないか」ということで始めたこの企画は以来、途切れることなく続き、今日に至っています。

晴天の日の10番ホールフェアウェイに座って眺めるティグラウンドでは、ポッカレモン消防音楽隊・大道芸人・民謡踊りの会などが素晴らしい演奏や演技を披露してくれました。

個々の会員は半年ぶりの友との再会に話を弾ませ、食べかつ呑み、緑豊かな自然の中で半日を過しました。

■交通 市バス「梅森坂」下車 徒歩10分

- (1) 老人クラブの活動内容や加入のメリットがよく知られていないこと
 - (2) ホームページを活用した勧誘方法
 - (3) クラブの解散や退会が後を絶たないこと
 - (4) 会員の高齢化がすすみ役員の後継者難が深刻なこと
 - (5) 価値観・趣味・活動の場が多様化、個人の意識が表面化していること(役員の出費・補償は要検討)
 - (6) クラブ相互の情報交換が十分でないこと(成功事例や失敗事例の情報交換)
 - (7) 効果的な勧誘活動
 - (8) 会員増員に成功した功労者への顕彰が不十分なこと
- 以上、いくつかの課題を述べましたが、体力は落ちても心は元気なままで、いつも前向きな姿勢でこれからも役員一同行動してまいりますので、会員の皆さまには老人クラブのためにさらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 最後に皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。